

平成24年度
第5期徳山地区地域審議会(第7回)
会 議 録

日 時：平成24年12月5日(水)

場 所：周南市役所3階 防災対策室

徳山地区地域審議会 会議次第

平成24年12月5日（水） 14時00分から

周南市役所3階 防災対策室

1 開会

2 市民憲章唱和

3 あいさつ

4 議事

(1) 答申の最終調整について

資料1：新市建設計画の進捗状況について（答申）

参考1：新市建設計画ソフト事業の評価結果について

参考2：ソフト事業の評価に対する主な理由

(2) 今後の予定について

資料2：第5期徳山地区地域審議会 今後のスケジュール

5 閉会

平成24年度 第5期徳山地区地域審議会（第7回） 会議録

- 日時 平成24年12月5日（水） 14時00分から
- 場所 周南市役所3階 防災対策室
- 出席者 ・委員 12名（欠席3名）
弘中 壽、中村俊道、久野三砂子、藤井尚美、佐野千鶴子、丸山康子
小田直美、有馬俊雅、田村隆弘、岩崎敬三、田中義啓、柳 泰浩
- ・事務局 6名
山下企画総務部長、坪金政策企画課長、高木係長、有間係長、福田主査
守重主任
- 資料 ・会議次第のとおり

会 議 議 事 録

1 開 会

2 市民憲章唱和

3 あいさつ（企画総務部長）

昨年の10月1日に皆さんにご就任いただきまして、本日で7回目になります。師走に入り、一段と寒くなってまいりました。

一方で、衆議院議員総選挙が始まり、慌ただしい状況になってまいりました。本日は、お忙しい中お集まりいただきまして、誠に有難うございました。

答申の最終調整ということで、活発にご協議いただきますようよろしくお願い申し上げます。

4 議事

（1）答申の最終調整について

- 会長 まず、「答申の最終調整」についての説明をお願いします。
- ◇事務局 ～「答申の最終調整」について、資料1、参考1、2をもとに説明～
- 会長 市長への答申案につきまして、内容の見直しに関する協議をお願いします。

ハード事業について

●委員 1 ページ目の「とりわけ、消防緊急通信指令システム」以下、3つの事業が書かれてある部分ですが、「安心・安全」がもっと一般市民に分かりやすい事業は無いのでしょうか。

◇事務局 市としては、旧2市2町の一体感ある「安心・安全」の確保という意味で、該当事業に巨額を投資してきました。

分かりにくいということであれば致し方ないと思いますが、その他に代わるものは見当たらないのではないかと思います。

●委員 文章構成についてですが、ハード事業は、はじめに総括があり、その後で未実施の8事業について必要性が高い、または低い事業についてそれぞれ評価が書いてあります。

一方で、ソフト事業は、リーディングプロジェクトについて書かれており、構成が違うため、違和感があります。

どちらの事業も同じ構成で書かれた方が読み易いと思います。

◇事務局 ハード事業は、実施したか実施していないかがはっきりと分かる一方、ソフト事業は実施しているが具体的な効果が見えにくいため、このような書き方にさせていただきました。

皆様にご議論を重ねていただいた結果、このような構成にさせていただいたということをご理解いただければと思います。

●委員 「交通教育センター建替え事業」ですが、この事業について議論した際、周南緑地の公園全体の見直しの中で本事業についても考えていただきたいという意見があったかと思います。

○会長 交通教育センターの建替えは必要ないけど、周南緑地の活用と併せた位置付けを考えてほしいという意見だったと思います。

「周南緑地の見直しの中で、位置付けを決めてほしい」という内容を入れていただければと思います。

●委員 ハード事業について、「必要性が高いと判定された事業」と、「必要性が低いと判定された事業」で分けていますが、「必要性が低いと判定された事業」は実施の必要性を完全に否定されたように感じられます。

したがって、「必要性が低いもしくは必要性を再検討すべきと判定された事業」というように、やわらかい表現にした方が良いと思います。

ソフト事業について

○会長 それでは、4ページからのソフト事業についてです。

ここでは、「重要度」と「満足度」にて評価の確認をしました。

ソフト事業はリーディングプロジェクトについてまとめたということで、それぞれ項目が挙がっています。

- 委員 4ページの資源循環型社会形成事業ですが、この事業は非常に重要な問題です。したがって、どの程度ごみを減量するという数値目標があって、実際に、どの程度の減量が達成できたということを言わないと、評価したことにならないと思います。

数値目標等の記載が無いと、消化不良という感じがします。

- ◇事務局 申し訳ありませんが、新市建設計画は各事業の個別目標まで踏み込んでおりませんので、数値目標の進捗まで踏まえてのご評価は難しいと思います。

市民一人あたりのごみ排出量やリサイクル資源化率などは、別途、広報や市のホームページで示したいと思います。

- 委員 記載されている内容は、色々なデータに基づき私たちが評価した内容であり、「私たちが評価した」ということが表現されてあるので、これで良いと思います。
- 委員 5ページの子育てサポート事業ですが、最後の段落に少し違和感があります。「充実した支援の中でも」という表現は「しかしながら」で良いのではないかと思います。

- 委員 高齢者いきいき事業についてです。重要な事業であることは間違いないですが、重厚すぎるほど充実しているのであれば、「最優先」という表現は、偏り過ぎているように感じます。「重点的」という表現で良いのではないのでしょうか。

- 会長 その他にも、「過剰なほどに」からの表現には違和感を覚えます。ここは「内容を精査して」という表現で良いのではないかと思います。

- 委員 6ページの国際交流事業ですが、全体のトーンはこれで良いと思います。2段落目の「このまま継続することには」という表現は、「このまま継続することや新規に姉妹都市縁組を結ぶことには」として、新規に姉妹都市縁組を結ぶことに抵抗があるということをはっきり書いてほしいと思います。また、「疑問を感じる」という表現は適切でないと思うので、表現を変えてほしいと思います。

- 委員 国際交流は、教育機関では力を入れている分野です。グローバル化は避けて通れないため、その環境でいかに上手に社会を形成するか、海外との繋がりを作っていくかということが大事になってきます。拒絶するという方向ではなく、そのような考え方が必要だという表現にしてもらいたいと思います。

- 委員 周南市は外国との関わりも多いので、そこを伸ばす必要があると思います。国際交流イコール姉妹都市縁組という考えに固執しているから、効果の点でいかなものか、惰性でやっているのではないかと感じます。

徳山大学や徳山高専が普段行っているような国際交流を強化することで、「外国人にやさしいまち」にしてほしいと思っています。

- 委員 表現についてですが、「多額の費用がかかるため」という言い訳は良くないと思います。

また、「企業や大学の留学生」の箇所に高専を追加していただけないでしょうか。

- 会長 「成果が不明瞭な事業」の部分も、表現の訂正が必要だと思います。

- 委員 「公共交通機関の拡充整備」の最初の2行の「交通基盤は・・・必要である」の部分ですが、「交通基盤の整備は・・・重要である」の方が良いと思います。

- 委員 7ページの市民参加型イベントの創造事業ですが、2行目からの文章が適切ではないと思います。

1行目では、イベントの企画を行政が主導している印象が強いと述べていますが、2行目での記載が「市民が参加することで」となっているため、市民が単に参加すればよい、という印象を与えます。

本来言いたいことは、市民が主体的にイベントに参加する、企画・創造することではないかと思います。

- 委員 地域コミュニティ形成事業ですが、コミュニティは、コミュニティ推進組織と、それに並ぶ各種団体との活動が輻輳しており、活動が分かりにくい、機能しにくいという点が、今後のコミュニティ活動の重要な課題であると思われるので、組織の運営体制に関する積極的なサポートを答申の言葉としていただければと思います。

- 委員 地域コミュニティを形成する団体には、自治会連合会や婦人会等あるので、明示するかは別として、どのような団体を指しているか明確にしないと、本質をついていない表現になると思います。

それと、自治組織は市が側面的にサポートする性質のものですから、この事業については、あくまでも市は脇役であるということを念頭に置いてもらいたいと思います。

- 会長 こちらの事業はコミュニティ推進協議会がメインとなっていますが、住民自治やコミュニティのあり方について考えた場合、必ずしもそれだけではないというご意見だと思います。

その点については、文言にて配慮していただければと思います。

今後の徳山地区のまちづくりの方向性について

- 会長 8ページからは、「今後の徳山地区のまちづくりの方向性について」という視点で記載しておりますが、皆様の意見が反映されているかご確認いただければと思います。

- 委員 「コミュニティ活動の活性化支援」のところで、3段落目の「少子高齢化に対応したコミュニティの作り方」という表現は問題があると思います。

本来、地域社会は、作るものではないので、「作り方」ではなく、「あり方」に
していただければと思います。

●委員 「福祉・保健・医療について」の箇所ですが、1行目の「充実しすぎている」
や、3行目の「手厚すぎる」という表現に疑問を感じます。

一般の市民の方は、そのように捉えていないのではないのでしょうか。

○会長 この文章を書いた委員の真意は、「よく精査をして取り組む必要がある」という
意味であり、充実しすぎているから悪いという意味ではないと思います。

◇事務局 委員の趣旨も踏まえ、一般的な表現に見直した方が良いというご判断をいただ
ければ、5ページも同様に修文したいと思います。

●委員 同じ個所の2行目で、「対象者の数や事業費が明らかに多く」という文章があり
ますが、「市財政への負担が大きすぎる」という表現にすれば、一般の市民の方にも
ご理解いただけるのではないのでしょうか。

●委員 安心安全についての部分ですが、3行目の「防災意識は高いに越したことはな
い」という表現は、消極的に感じるため、「防災意識を持つことは必要不可欠」と
改めたほうが良いと思います。

●委員 同じ「中心部の一体整備」の最後の段落に、「自然を生かした形で整備を行い」
とありますが、可能であれば、「自然を生かした形で、国や県と連携しながら」と
いう文章にしていいただければと思います。

市の中心部には国有財産、県有財産が多くありますので、連携しなければ実現
できないと思います。

●委員 リーディングプロジェクト以外の事業の評価について、概要で良いので、ソフト事
業の前段の部分に盛り込んでおいた方が良いのではないのでしょうか。

○会長 皆さん他にはよろしいでしょうか。(意見なし)

それでは、本日、皆さんより頂いたご意見により整理したものをお送りして、
再度ご意見をいただければと思います。

最終的には、再度皆さんよりご意見をいただいた後、私と副会長と事務局で協
議をした上で訂正させていただき、地域審議会の設置に関する協議書第3条第1
項に基づき、市長に答申することとしてよろしいでしょうか。(異議なし)

ありがとうございます。

以上で、議事(1)「答申の最終調整について」を終了いたします。

(2) 今後の予定について

○会長 「今後の予定」についての説明をお願いします。

◇事務局 ～「今後の予定」について、資料2をもとに説明～

○会長 事務局の説明のとおり、答申案を修正したものを平成25年2月1日に、私が徳山地区地域審議会を代表しまして、市長に提言いたします。
以上で、本日の議事を終了いたします。

5 会長あいさつ

平成23年の10月21日以来、皆様方には大変お世話になりました。
諸先輩方を前に会長という職は荷が重かったのですが、皆様の大変貴重なご意見により支えていただき、どうも有難うございました。
徳山地区も中心市街地の問題など、なかなか厳しい状況が続いております。
徳山地区に関して言えば、「地域づくり」と言っても難しい面があるかもしれませんが、地道な活動を継続的にやっていくことが大切だと思います。
これからも、色々な場面で皆様と力を合わせながら活動することもあるかと思いますが、宜しくお願いします。

6 お礼のあいさつ（企画総務部長）

通常は1期2年間の任期ですが、最終期ということで、1年半の間お世話になりました。
私自身、最初の第1期の委員さんを選ぶ時から地域審議会に携わっておりましたので、最後を迎えるということには、感慨深いものがあります。
周南市は、来年の4月21日に誕生10周年を迎えます。
この10年間、色々なことがありました。
周南市としての一体感の醸成において、旧2市2町それぞれの生い立ちが違うため、色々苦勞がありました。
10年を1つの節目として、次のステップに進もうと考えております。
皆様には、最初の10年という時期に色々ご協力いただきまして、有難うございました。
今後も引き続きご支援いただきますようお願い申し上げます。

7 閉会

◇事務局 以上をもちまして、第7回徳山地区地域審議会を閉会いたします。
皆さん、お疲れ様でございました。